

新チームがスタートしました！！

7月1日（土）から新チームがスタートしました。期末考査がある関係上、ミーティング・勉強会のスタートとなりましたが、3年生がいなくなり、21



名全員が新たな立場と役割とそれに伴う責任を背負うこととなります。まずは1人1人が自覚をもって野球部の活動に参加してください。

新チームは2年生11名（マネージャー2名）1年生10名（マネージャー1名）計21名でスタートします。1年生から公式戦に出場している選手も多く、まだ自分の力を発揮できていない選手とかみ合えば、新チームも期待が持てるチームだと監督としては見えています。

まずは『何となく』野球をやるのではなく、『流

れに身を任して』練習するのではなく、『その場のノリと勢い』でチームが動くのではなく、選手自身の意志！！選手自身の覚悟！！選手自身の方向性！！それをしっかり決断してからスタートしてほしいと思っています。

夏の大会の3年生の負けを活かしてほしい！！3年生最後の試合に7名の1、2年生が出場し、11名の1、2年生がベンチに入っていました。学習してほしい！！いかに不安要素を取り除いて試合に臨まなければいけないのか、と言うことを間近で実感できたはずです。

力がある3年生で今回の結果です。新チームはどこにエネルギーと時間を費やすのか、まずはあなた方自身がしっかり覚悟を決めて、何を目的に何を大切にしながら何を具体的に取り組んでいくのか、21名全員で決断してスタートを切ることです。



今抱えている不安要素を取り除くための作業を全員でやりきる事です。そこに全員の気持ちとエネルギーと時間を費やすことができなかつたら、その不安要素を抱えながら相手と戦うことになるります。

日々の取り組み、その取り組みに対する成果効果、指導者・選手・マネージャーのかみ合い、そのことを選手自身が意識して、その成果効果を身体で実感し、選手同士で共感できるからチームが前に動き出すはずでず。

その場のノリと勢いでは実証と根拠がないため、不安要素をチームとして抱えながら、対戦校と戦わな



ければいけません。その時点で不利でず。やる前から不利な状態で相手を迎えることになるります。

自分のチームの不安要素は、自分自身の不安要素は、自分たちや自分が誰よりも理解しているはずでず。自分のチームの自分

自身の不安要素と向き合うことです。理解して受け入れて、その不安要素を秋の大会までの日々の練習で、自分たちで自分自身の力と取り組みで解決することです。

7月3日現在、秋の大会まで68日です。期末考査があり学校祭があり夏休みが終わった頃には、秋の大会まで3週間になります。いち早く21名全員の進むべき道、やり遂げる課題を明確にし、21名全員の意思統一を図りチームが出発してくれたらと監督としては感じています。

1年生は3ヶ月、2年生は1年と3ヶ月高校野球を経験し、日数の経過の早さは実感できているはずでず。その場の苦しみ辛さばかりに気を取られ、先を見据えることができなくなつたら、チームとしても選手としても人としても、その先にあるものは自分が望んでいない結果でず。

自分の損得だけで考え、自分の感情を優先するから、周りが見えなくなります。支えてもらっていること、協力してもらっていること、自分のために何かしてもらっていること、すべてのことが見えなくなり、自分のことしか考えることができなくなってしまいます。

自分のやりたいことをやる、自分の感覚で感じたことだけを信じる、本来はそんな気持ちを自分自身でコントロールしなければいけないのに、その気持ちを突き通す、自分だけのことしか考えていない、高校生がやる高校野球。まずは自分自身と向き合い、冷静に自分以外のことにもしっかりと目を向け、自分以外の相手の思いを素直に感じることです。

もう小学生でも中学生でもない、高校生としての自覚と責任。そこを感じ、そこを自己都合だけで素通りせず、自分の感情を優先しないから、色々なことが見えてくるはずです。「感じない、考えない」は、チーム、選手、人間として後退を意味します。

入学したときに比べて、1ヶ月前の自分と今の自分、昨日の自分と今日の自分、違いや変化や成長を自分自身で感じられるチーム、選手、人間になってもらいたいと監督としては思っています。

「感じない、考えられない」は自分自身の危険信号だと自分で理解し、自ら軌道修正できたら成長できるはずです。そこを自分自身で操作できない人間にならないことです。それが高校生がやる高校野球ではないでしょうか！！自分の思ったようにならないのが、野球です。人生です。



帯広南商業高校野球部 監督 小林 真基